

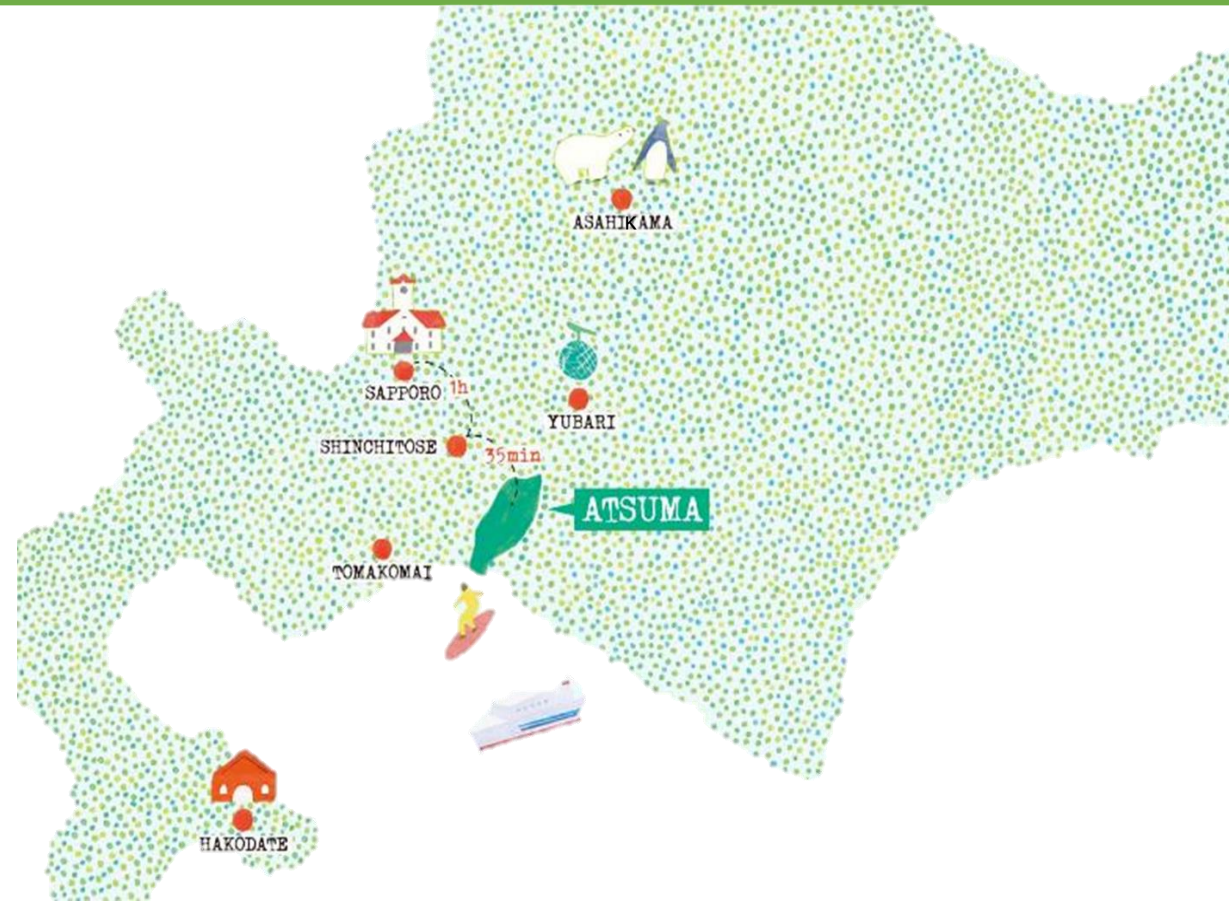
厚真町の起業・創業支援の 状況と課題について

2026.1.6

厚真町の概要



ATSUMA LOVERS



人口(R7.6月末)	面積	年間平均気温	年間降水量
4,244人	404.61km ²	7.0度	1,028mm

都市部へのアクセス(自動車)

札幌市まで	65km	新千歳空港まで	28km	苫小牧市まで	35km
約80分		約35分		約40分	

起業・創業を推進に向けた事業－厚真町の持続可能性を向上させるための施策



ATSUMA LOVERS

2013～
起業家支援補助金の開始

2017～
上厚真サテライトオフィス設置
(保育園の改修)

2022～
新町サテライトオフィス設置
(道事務所の改修)

2020～
協働型協力隊制度開始

2015～
地域活性化起業人の受入れ

新規の地域産業
創出・雇用機会
の増加

起業・創業の
増加

関係人口
創出・拡大

人が人を呼ぶ好循環
・ベンチャー企業の立地
・新たな交流・プロジェクト

多様な人材の受入れ
・テレワーク
・副業人材

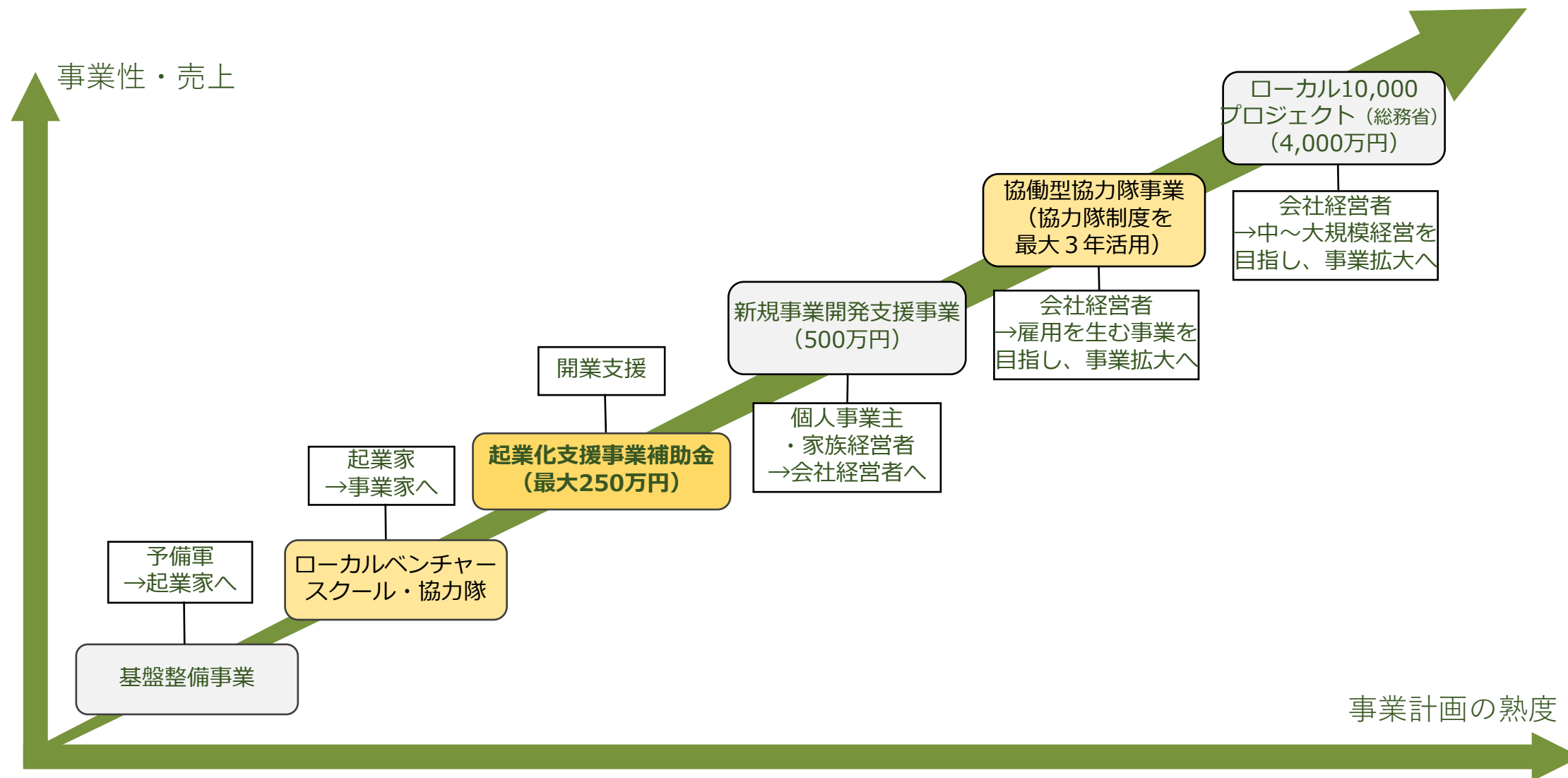
2016～
起業・創業増加に向け
ローカルベンチャー
スクールを開始
起業型地域おこし協
力隊の採用



2011～ 地域おこし協力隊の
採用開始(農業)

複層的な起業・創業支援

起業の想起から、大規模なチャレンジまでを連続的に支援するスキーム



LVSによる起業型人材の育成・誘致

LVSとは？ 「やる人」を起点にした新たな価値創造を支援するプログラム

町は協力隊の活動内容を決めず、応募者がやりたい事で地域活性化や起業する。町は応募者の事業プランを専門家と共に精査し、可否を判定する



①エントリー
1月中旬



書類選考

②1次選考合宿
2月(3日間)
・2度のプレゼン
・専門家との議論
・プランの改善
・1次選考プレゼン



事業プランの
ブラッシュアップ

③最終選考会
3月(1日間)
・最終選考プレゼン
・今後の相談



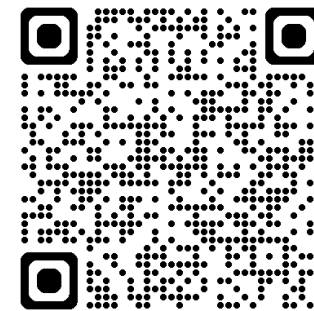
移住・起業準備

④移住・起業
翌年4月以降

起業型地域おこし協力隊による起業事例



これまでの創業実績：26件（2017～2024年）



町HP‘厚真町チャレンジ応援通信’

- ・厚真の挑戦者の記事
- ・起業に興味がある方は
‘ローカルベンチャースクール
(LVS)’で検索

協働型地域おこし協力隊一事業拡大による新規雇用創出へ

LV事業から始まり、個人事業から企業（雇用創出）までの複層的な産業作り事業へ
雇用を生む産業作りによる、持続的に挑戦を生む町を目指す

協働型地域おこし協力隊

< 事業者要件 >

- ・ 町内に拠点
- ・ 起業して5年以内
- ・ 現在の事業と異なる分野での新規事業開発

- ・ ローカルベンチャー
- ・ 地域企業による新規事業

規模拡大、新規雇用創出

協働型地域おこし協力隊

事業をともに創っていく「右腕」「仲間」
任期終了後は雇用継続を期待



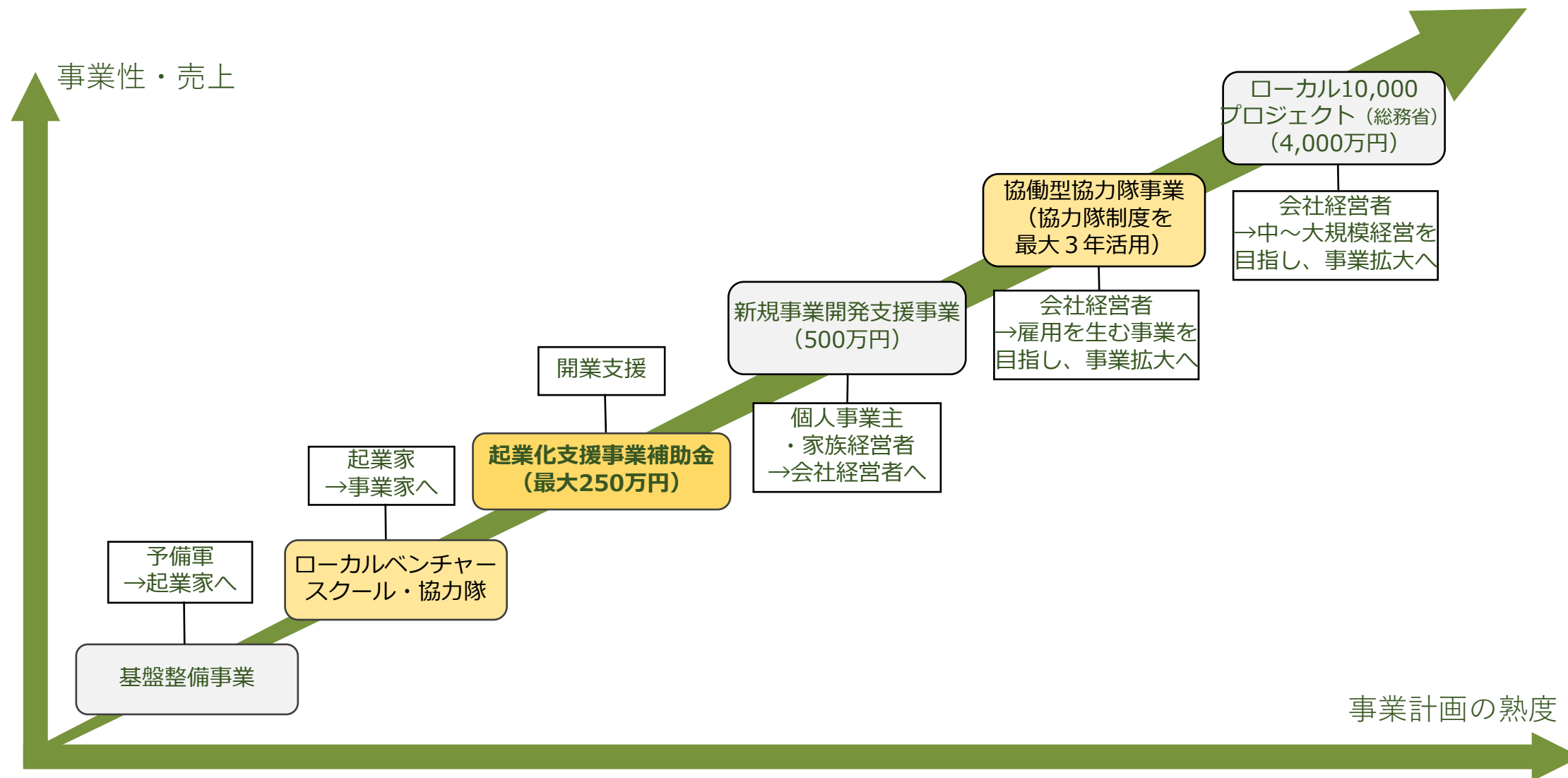
株式会社 たのしい
しいたけの加工販売
↑
デザイナー



西埜馬搬
馬による林業・馬そりの提供
↑
馬の飼育・体験観光提供経験者

複層的な起業・創業支援

起業の想起から、大規模なチャレンジまでを連続的に支援するスキーム



複層的な起業・創業支援の実績

1. 起業化支援（2015～）：起業する際に最大250万円の補助（事業費の1/2）

補助実績：53件（開業率2.4%相当）※補助を受けていない起業は含まない

補助総額：約84,200千円

継続事業：50件（継続率94.3%）

雇用者数：19人（受入事業社13社、26%）

類型割合：①**34%**、②34%、③6%、④26%、⑤0%

2. ローカルベンチャースクール（2016～）

委嘱者数：26名

継続事業：18件（継続率36.4%）

雇用者数：8名（受入事業社4社、22%）

類型割合：①14%、②**50%**、③4%、④32%、⑤0%

3. 協働型地域おこし協力隊（2020～）

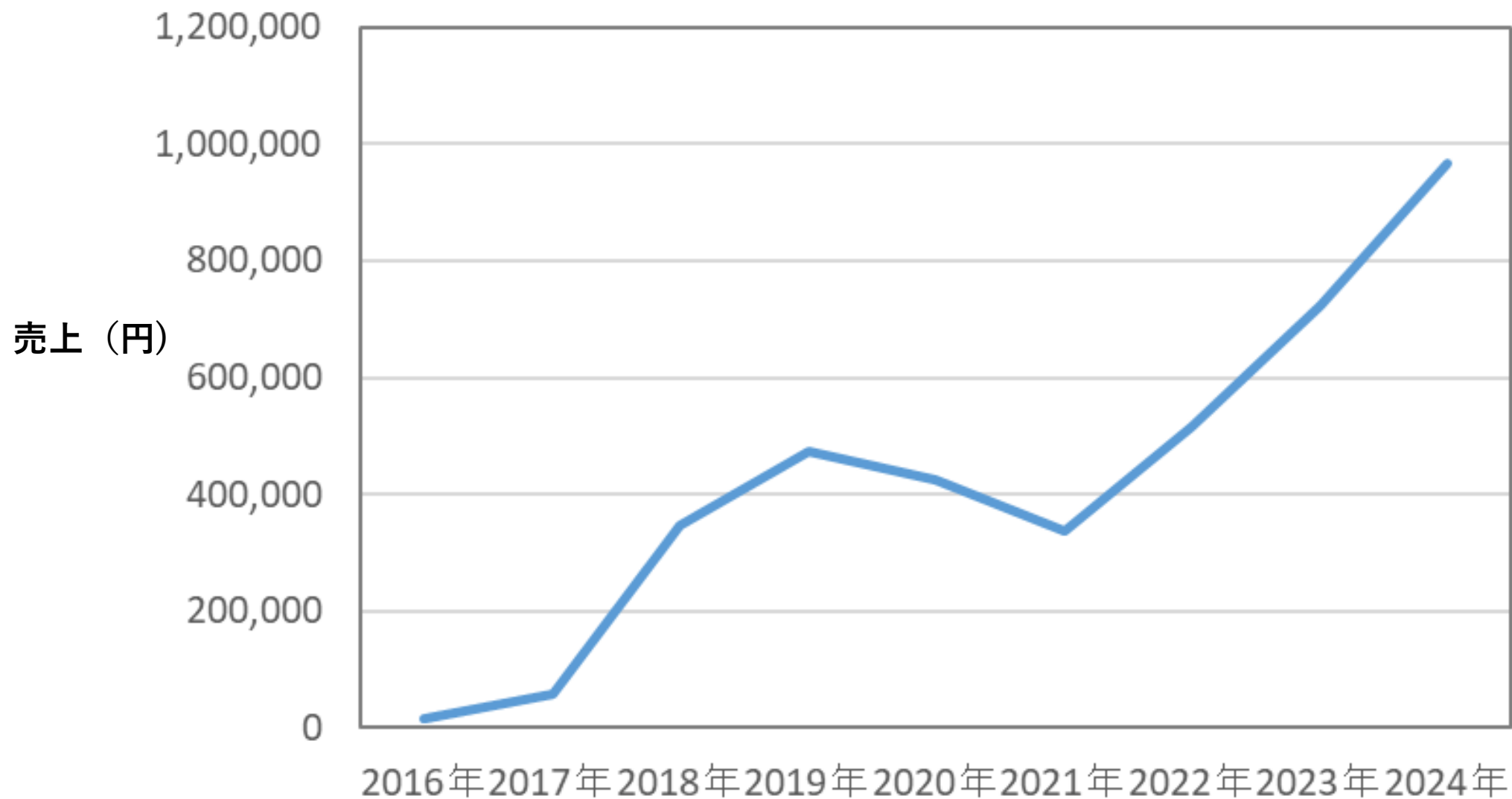
委嘱者数：23名

受入事業社数：15社

継続雇用数：8名（継続率34.8%）

類型割合：①8%、②**84%**、③4%、④4%、⑤0%

複層的な起業・創業支援の結果



16,430千円 → 968,535千円 (約60倍)

1. 起業化支援（2015～）：起業する際に最大250万円の補助（事業費の1/2）

- ・ 起業に対し効果あり（開業率2.4%相当）
- ・ Uターンや地域住民による地域コミュニティ型（飲食・理美容等）を特に創出
- ・ 継続率が高い

2. ローカルベンチャースクール（2016～）：協力隊制度を活用した起業家の育成・誘致

- ・ 移住を伴う起業であり、ハードルは高いが起業に対する一定の効果はある（継続率は低め）
- ・ 地域資源型の起業が多い
- ・ 雇用を創出する事例も生まれ始めている

3. 協働型地域おこし協力隊（2020～）：新規事業を成長させるための人材育成支援

- ・ 委嘱者は多い一方で、離職者も多い（継続率34.8%）
- ・ 地域資源型での雇用の事例が多い（84%）

1. 起業と雇用創出（実績①）

- ・ 起業支援補助によって、地域コミュニティ型の事業が継続して創出されており、地域の魅力
- ・ 売上の向上には効果があるものの、雇用に対しての効果は少ない

2. 成長類型（実績②）

- ・ 地域資源を活用した飲食業や、畜産×観光・飲食×新たな育成技術（スタートアップ型？）
といった複数の分類にまたがる業態が存在している

3. 成長スピード（課題①）

- ・ 地域資源型においても事業者によって成長に大きな差がある（1～5年程度）。創業時の組織の人数が成長スピードに差を生む要因の可能性もある。起業から何年までを起業支援として位置付けるか検討が必要（例：起業から8年までなど）

4. 支援の形（課題②）

- ・ 初期のハード・備品整備への支援に加え、ソフトへの支援が重要（特に人の雇用）
- ・ 一方で、雇用側と被雇用者とのミスマッチも起こりがちなため、一定の条件の設定のもと複数回の制度利用を認めることが有効
- ・ 複数の支援制度を同時に利用できる仕組みが成長スピードを上げる上で有効
- ・ 行政からの支援を受けたために発生する制限を限定することが必要
- ・ 公的補助に加え、より多様（エリア・手法）な資金調達を組み合わせることが必要



あつまのおと ATSUMA-NOTE

厚真町で、みんなの挑戦をみんなで叶える

<https://atsuma-note.jp/>



アツマイホーム

厚真町の住まい探しをお手伝い

<https://www.town.atsuma.lg.jp/atsumyhome/>



ATSUMA TOWN WORKCATION STYLE

あつまじかんを過ごす厚真ワーケーションスタイル

<https://atsumaworkcation.jp/>



一社) 厚真町観光協会

アツマレ！厚真の自然・食・農を体験する

<https://atsuma-kankoukyoukai.jp/>



ふるさとチョイス厚真

地域の美味しいものをたっぷり味わう

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/01581>



関係人口創出アプリ「ATSUMA LOVERS」

<https://atsuma-note.jp/atsuma-lovers-app/>

自然と共に生きていく。